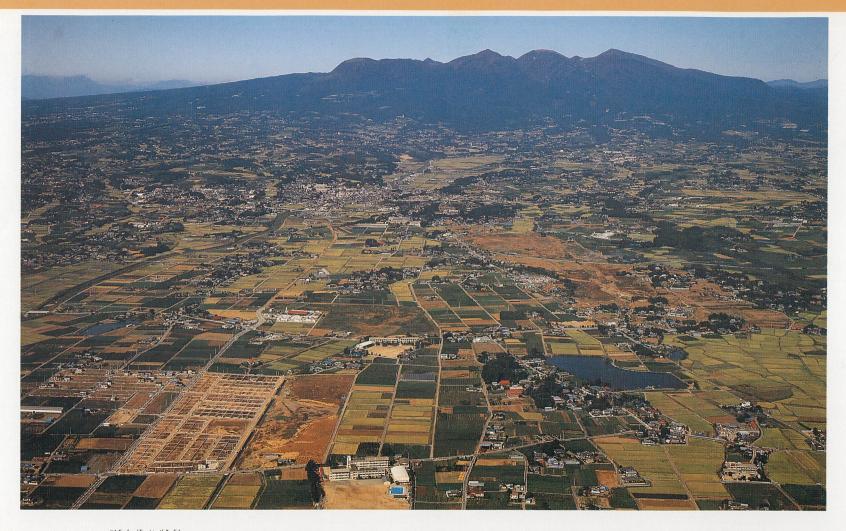


1985~1988 前橋市教育委員会 柳久保遺跡群の発掘調査Ⅲ

柳久保遺跡群の調査



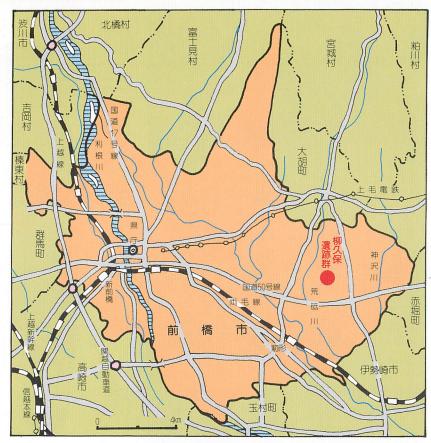
柳久保遺跡群の調査



▲旧石器時代の調査風景(赤土が硬くてたいへんです。)



▲旧石器時代の調査風景(塔のようなところから石器がでました。)

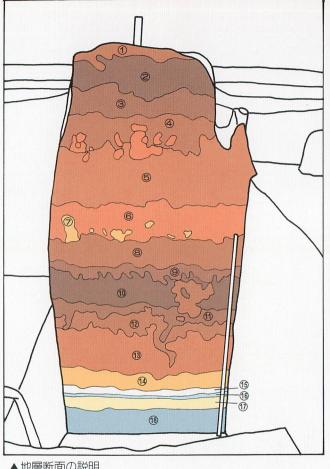


▲柳久保遺跡群の周辺図

柳久保遺跡群は、前橋市東部の荒字・荒白町にあります。1985年、『城南住宅団地』ができることになりました。その工事が始まると土の中にある昔の人たちの暮らしの跡がなくなってしまいます。昔の人たちの暮らしの跡を記録として残すために調査が始まりました。その結果、旧名器時代から歴史時代までの様々な暮らしの跡が掘り出されました。そして今、それらのものは姿を消し、現代の人達の家が建ちならぼうとしています。

旧石器時代の調査





時代	番号	土の種類	年 代	文化	火山灰の産地
現在 補 文	(i)	現在の耕作土	現在~ 約2,000年前	縄文時 代以降	浅間山 (1108・1783年) 浅間山 (4世紀半ば)
時代	3	やわらかいローム± ル	約2,000年前~ 約1,2万年前	縄文 時代	浅間山 浅間山
	6	かたいローム土	約1.2~ 1.3万年前	細石刃	浅間山
	6	ガ 黄橙色の軽石	約1.3~ 2.0万年前	ナイフ 形石器	浅間山
	6	ガたいローム主	約2.0万年 前に近い		浅間山
18	9	ν	約2.1~ 2.2万年前		南九州姶良丹沢 火山灰 (錦江湾)
石	0	n	約2.2~ 2.5万年前	ナイフ 形石器	火山の活動が弱 まり植物が繁茂 していた。
%	0	n n			U CVVC.
	10	n	約2.5~ 4.1万年前		赤城山 (園芸用の鹿沼 土を含む)
時	13))			
代	13	白い軽石	約4.1~ 4.2万年前		
	16	青い火山灰		榛名山	
	10	黄色い軽石			
	(1)	粘土層	約4.2万年 以前		ey -
	V	19粘土層の下の土に	ま、ずつと昔に	ご積もつな	きものです。

④ ふつう縄文時代の主器や石器は黒色土の中から出るが、本地域の場合 は、ローム土が気象条件などにより動いているため、その中から出て

▲地層断面

▲地層断面の説明

1988年に調査した柳久保遺跡群の南東部に位置する頭無遺跡の赤土の中から多くの旧石器時代の石器が出ました。約 2.3万年前と約1.8万年前のナイフのような形をした石器、約1.3万年前の北海道や東北地方に多く見られる石器です。特 に、約1.3万年前のものは細石刃文化と呼ばれるもので、前橋市はもとより、群馬県内においても初めてみつかつたもの です。石器に使われた石も群馬県内では見られないもので、東北地方から運ばれてきたものです。

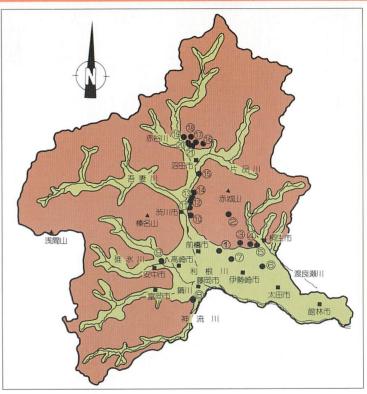
旧石器時代の調査



▲ナイフ形石器(左2点が約1.8万年前、右2点が約2.3万年前の石器です。)



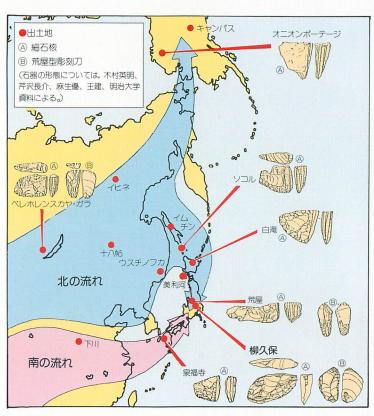
▲旧石器時代調査区全景(頭無遺跡)



▲群馬県の旧石器時代主要遺跡図

2m近い深さの "デュ" (関東ローム層) の中から約2.3万年前のものと約1.8万年前の石器がみつかりました。この石器は現在のナイフの形に似ていることから "ナイフ形石器" と呼ばれています。試し掘りをして石器の出た所を中心にして、さらに広げて調査します。柳久保遺跡群で暮らした人々が使った最も古い石の道具です。

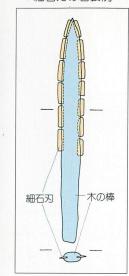
旧石器時代の調査



▲細石刃文化2つの流れ (週刊朝日百科「日本の歴史」35号を一部改変)

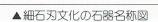






| ② 禁 産 型 彫 刻 分…細石刃を軸に埋め込むための 篝を掘る道具。

- 図 細 若 対…細石核から薄く細長くはがしたもの。木などにはめ込んで槍や小刀として使用。
- ◎ 純 若 核…細石刃を作るために木の葉のように加工されたもの。
- ◎ 細岩核調整剝片…細石核の形を整えた際に生じたかけら。
- € 搔 器…動物の皮を整えてきれいにする。
- ⑤ 削 器…動物の肉を切ったり、木を削る。
- ⑥ 若 核調整 影片…石核の形を整えた際に生じたかけら。
- 田 彫 刻 労 前 洋…彫刻刀の刃をつける際に生じたかけら。
- ① 細石核稜付削片…細石核をつくる時、最初に出たかけら。



細石刃文化には2つの流れがあります。シベリア地方から北海道を経て東日本へ伝わるものと中国南部から九州を経て西日本に伝わるものです。柳久保遺跡群でみつかった細石刃文化は北からの流れに入るものです。 細岩核と言われる石器から細岩切と呼ばれる石器をはがし、それを木や角にはめ込んで槍の先や小刀のように使いました。

縄文時代の調査

▼狩りに使ったおとし穴





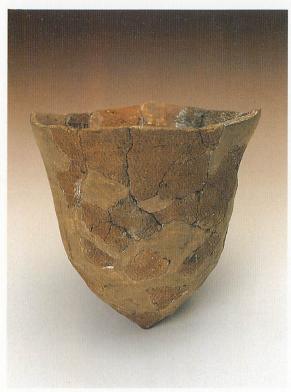


▲縄文時代のおとし穴全景(頭無遺跡)

▲おとし穴の調査風景(おとし穴の大きさがわかります。)

選支時代は、約1万2千年前~2千年前の時代です。この時代になると人は 粘土を焼いて器を造ることを知ります。これが"縄文式土器"と呼ばれるもの です。自然のものを取って管糧としていましたが、土器を使い物を煮て食べ

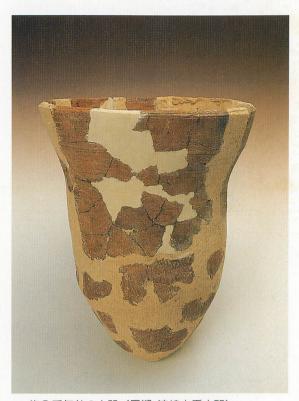
縄文時代の調査



▲約8千5百年前の土器 (早期·押型文土器)



▲約8千5百年前の土器(早期·押型文土器)



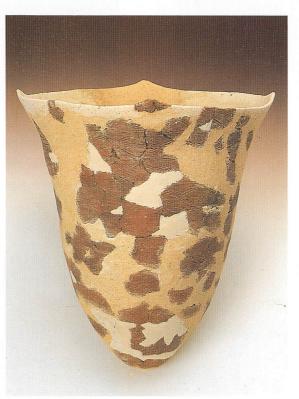
▲約8千年前の土器(早期·沈線文系土器)

今までの時代と違い縄文時代になると土器と弓矢が発明されます。約1万2千年前のことです。土器が発明されたことにより人々の暮らしがたいそう変わりました。土器によって、歯の摩耗を防ぎ、胃や腸などの消化を助けたり、食べ物を殺菌できるなどにより人々の寿命がのびました。お年寄りの長寿により文化が保存され発達しました。

縄文時代の調査



▲約8千年前の土器(早期·沈線文系土器)



▲約8千年前の土器 (早期·沈線文系土器)



▲約フ干年前の土器(早期・条痕文系土器)

約1万年間続いた縄文時代に使われた縄文式土器も時代によって様々な形に変わっていきました。初めに作られた土器の底は平らなものですが、次の時期には底の災った土器がつくられる様になります。底の尖った土器はわずかな期間しか使われませんでした。その後はずっと底が平らな土器が使われます。柳久保遺跡群でみつかった土器はこのわずかな間に使われた底の尖った土器です。

古墳時代~平安時代の調査



▲約1,600年前の土器(古墳時代前期・汽笛川式土器)



▲約1,500年前の土器(古墳時代中期·礼覧式土器)



▲約1,300年前の土器(古墳時代後期・嵬篙式土器)

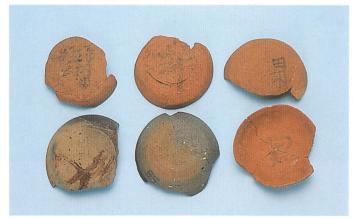


▲約1,200年前の土器 (奈良時代·真間式土器)

古墳時代~平安時代の調査

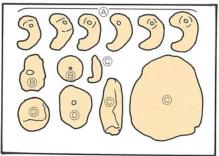


▲約1,300年前の古墳から出た土器(古墳時代後期)



▲約1,200年前の文字がかかれた土器





▲住居跡から出た玉類の名称

圆...... 智 乳 苔 粄

昔の人がお祭りに使った石で作られた芍芸類がみつかりました。また、家の跡や井戸などから墨書土器(墨で土器に文字が書かれているもの)が56点出ました。種類は土崎諸の様、須恵諸の様、椀です。墨書土器出土の家の跡は今から1,200年くらい前のものです。書かれている文字は「田」、「田部」と田に関連するものが多く、前橋市の歴史を考える上で大変貴重な資料です。

古墳と住居跡の調査



▲住居跡から出たたくさんの土器



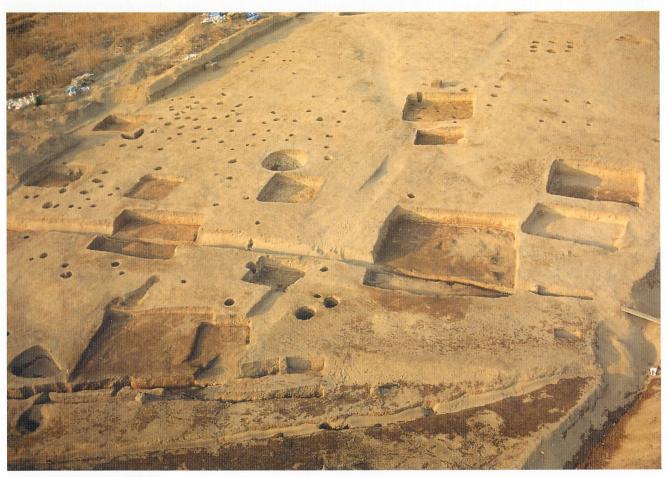
▲土器を使って作られたカマド



▲古墳の石室

柳久保遺跡群・守鶴谷遺跡でみつかった古墳は、直径21~22mの円墳です。横穴式石室で、赤城の自然石を少し加工して積んであります。全長5m25cmで、笠室(死者を葬った所)は2m55cm、玄室へ通じる部分(入り口)は2m70cmです。この古墳は石室の平面形が弧を描くことと、前庭(葬式をとりおこなった所)があること、出土した土器などから古墳時代の終わりごろ(今から1,300年前)に造られたものです。

掘立柱建物跡の調査



▲柳久保遺跡の住居と建物群

柳久保遺跡群・柳久保遺跡の台地からは200~300個の柱の跡がみつかりました。それらを整理した結果、25軒分の鐘物跡がみつかりました。そのほとんどは南側のゆるやかな斜面にありました。大きさは2間×3間(3.6m×5.4m)がほとんどです。人が住むために使ったものか、生活に必要な道具をしまっておく物置に使ったものかは分かりません。

平安時代水田跡の調査



▲平安時代の水田跡と絵のある土器が出た場所



▲重なって出た土器



▲絵のある土器とまとまって出た土器や骨、歯





▲▲▲土器に描かれた絵

平安時代の水田跡の調査で、1108 (美性元) 年、浅間山噴火の際に降り積もった火山灰にうずもれた水田跡から土器とブタの骨、ウマの歯がまとまってみつかりました。この土器の中に「鬼」や「ウマ」が墨で描かれていました。これらのものは、豊作を祈るために使われました。

柳久保遺跡群の調査を終えて



▲現地見学会のようす



▲現地見学会のようす



▲調査を終えて

1985年から始まった柳久保遺跡群(約100,000㎡)の発掘調査も1987年10月で終了しました。

発掘調査は「城南住宅団地」造成地内の台地の表面を総て取り除いて行われました。調査の結果、旧石器時代の遺物、縄文時代の土器・石器・おとし穴、古墳時代以降の集落・古墳、平安時代の水田耕作における昔の人達の祈りに関する 墨画土器、さらに、律令体制をうかがい知るような墨書土器等貴重な資料を得ることができました。また、現地見学会は、たくさんの人たちが訪れ盛況の内に終わりました。

32,000年を1年として見ると





12月12日18時50分24秒



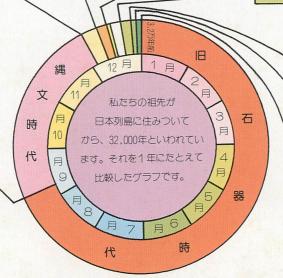
12月5日22時30分43秒



9月9日1時33分36秒



A The same of the

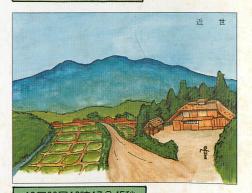


12月23日 1 時20分38秒

12月17日8時24分00秒



12月27日14時54分14秒



柳久保遺跡群 前橋市教育委員会文化財保護

印刷 株式会社 報 通

12月30日16時17分45秒

除夜の鐘 近代・現代 大みそかの

6時28分48秒に昭和が始まる。